

参加費
無料

令和6年度 都市づくりフォーラム 2024 能登半島地震からのくらし・すまい・ なりわい・まちの回復と事前復興まちづくり

日時 令和7年 1月15日 (水)

13:30～16:30 (開場13:00)

会場 たましんRISURUホール (立川市市民会館)
小ホール

定員 200名(先着)



- たましんRISURUホール (立川市市民会館)
東京都立川市錦町3-3-20
- JR中央線立川駅南口より、徒歩約13分
- JR南武線西国分寺駅より、徒歩約7分
- 多摩都市モノレール立川南駅より、徒歩約12分

研究報告

13:40 - 14:00

「2024年能登半島地震の復興実態調査と 東京の事前復興計画への考察と拡張」中間報告

■ 東京都立大学 都市環境学部 都市政策科学科 教授 ^{いちこ}市古 ^{たろう}太郎氏

講演

14:00 - 15:00

災害への備えと対応 令和6年能登半島地震の教訓 ～行政、被災者、支援者の視点から～

■ 前石川県危機管理監 ^{むらかみ}村上 ^{まさる}勝氏

活動報告

15:00 - 15:15

2024年東京都能登半島地震ボランティア活動の報告 -被災地サロン活動を通して見た能登半島被災地の魅力-

■ 一般社団法人 災害協働サポート東京 ^{やぶた}藪田 ^{まりこ}真理子氏

パネルディスカッション

15:25 - 16:25

能登半島地震のくらし・すまい・なりわいの再建と東京からの学び

モデレーター 東京都立大学 都市環境学部 都市政策科学科 教授 市古 太郎氏
パネリスト 東京都立大学 都市環境学部 都市政策科学科 助教 益邑 明伸氏
前石川県危機管理監 村上 勝氏
一般社団法人 災害協働サポート東京 藪田 真理子氏

お申込み・お問い合わせ

- お申込み方法: 氏名(部署)・参加人数・参加者氏名及び電話番号を記入の上、下記宛先に電子メールにてお申込みください。
当落結果は、電子メールにて返信いたします。(電話での申込み不可) ※お申込みに係る個人情報、本目的以外には使用いたしません。
 - お申込み締切り: 令和7年1月8日(水)まで(定員200名/申込み先着順)
 - お問い合わせ先: (公財)東京都都市づくり公社 事業推進部 公益事業課 西川
- TEL: 042-686-1910 E-mail: koueki@toshizukuri.or.jp

2024年能登半島地震から1年、被災地の状況について共有すると同時に、
くらし・すまい・なりわいの再建について考えます。

東京からできることについて、能登半島地震ボランティアプログラムの活動
報告をお聞きください。

また、将来の首都直下型地震対策への知見とし、東京の都市づくりの推進に
寄与するため、令和6年度より実施している東京都都市づくり公社と東京都立
大学との共同研究についての、研究報告も併せて行います。



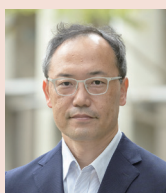
プロフィール

研究報告・パネルディスカッションモデレーター

東京都立大学 都市環境学部
都市政策科学科 教授

いちこ たろう

市古 太郎 氏



専門は都市計画・まちづくり。特に、災害復興まちづくり
と都市防災計画に詳しい。阪神・淡路大震災、東日本大
震災といった国内震災、台湾921地震、ネパールゴルカ地
震といった海外の災害復興研究に従事。またこれら災害
復興研究の知見を基に、「事前復興まちづくり」の手法開
発に取り組む。近年は災害市民ボランティア活動と研究
Projectに従事。

講演・パネルディスカッションパネリスト

石川県代表監査委員
(前石川県危機管理監)

むらかみ まさる

村上 勝 氏



令和6年1月1日に発生した能登半島地震では、被災者として、避
難所運営を担うかたわら、行政への助言のほか、ボランティア団
体との協働による炊き出し支援等を実施。

現在は、住まいの再建に関する相談などを中心に、被災者支援に
取り組んでいる。

1986年石川県入庁。税、管財、国際交流、商工労働、秘書、行幸
啓の業務を担当し、2016年消防保安課長、2017年危機対策課
長、2019年危機管理監室次長、2021年危機管理監、2023年
3月石川県退職。2023年4月石川県代表監査委員就任。

活動報告・パネルディスカッションパネリスト

一般社団法人
災害協働サポート東京

やぶた まりこ

藪田 真理子 氏



社会福祉士。2024年3月まで荒川区社会福祉協議会にて勤務。
ボランティアのためのオープンスペースでのボランティアコー
ディネートや講座企画、また近隣の社会福祉協議会やNPOとの災害
連絡会担当を行う。4月より一般社団法人災害協働サポート東京
のスタッフとして「令和6年能登半島地震被災者支援プログラム」
に参加。ボランティアの引率や現地でのコーディネートを行う。

パネルディスカッションパネリスト

東京都立大学 都市環境学部
都市政策科学科 助教

ますむら あきのぶ

益邑 明伸 氏



専門は都市計画、復興まちづくり。被災地域における
復興都市計画と産業復興についての研究、地域住民主体
の復興まちづくりの支援を行なっている。著書に「津波
被災集落の復興検証：プランナーが振り返る大槌町赤浜
の復興」（共著、萌文社、2018）。

 YouTube にて
同時配信いたします。

● 下記URLまたは右QRコードよりご視聴ください。
<https://www.youtube.com/live/2mKVoiV6pXo>



同時配信QR